

## 最近の管内経済概況

(2023年3月の経済指標を中心として)

～ 持ち直しの動きがみられる ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱い動きとなっている。
- 個人消費は、持ち直している。
- 観光は、緩やかに改善している。
- 公共工事は、減少した。
- 住宅建設は、弱まっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、緩やかに持ち直しの動きがみられる。
- 企業倒産は、件数は増加、負債総額は減少した。

全体として、管内経済は、持ち直しの動きがみられる。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2023年5月18日

照会先：経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L：011-709-2311 内線 2525

E-mail：bzl-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L：https://www.hkd.meti.go.jp

# 管内経済概況判断の推移

(2023年5月現在)

発表月	2022年12月	2023年1月	2月	3月	4月	5月	前月との判断比較
総括判断	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きがみられる(↗)	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→
生産活動	弱含みとなっている	弱い動きとなっている(↘)	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	→
個人消費	持ち直しの動きがみられる(↗)	緩やかに持ち直している(↗)	緩やかに持ち直している	持ち直している(↗)	持ち直している	持ち直している	→
観光	緩やかに改善している(↗)	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	→
公共工事	減少した(↘)	減少した	減少した	減少した	減少した	減少した	→
住宅建設	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる(↘)	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	弱まっている(↘)	弱まっている	→
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	→
雇用動向	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	→
企業倒産	件数、負債総額とも増加した	件数は減少、負債総額は増加した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数は増加、負債総額は減少した	件数は増加、負債総額は減少した	↘

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

↗ 上方修正    → 据え置き    ↘ 下方修正

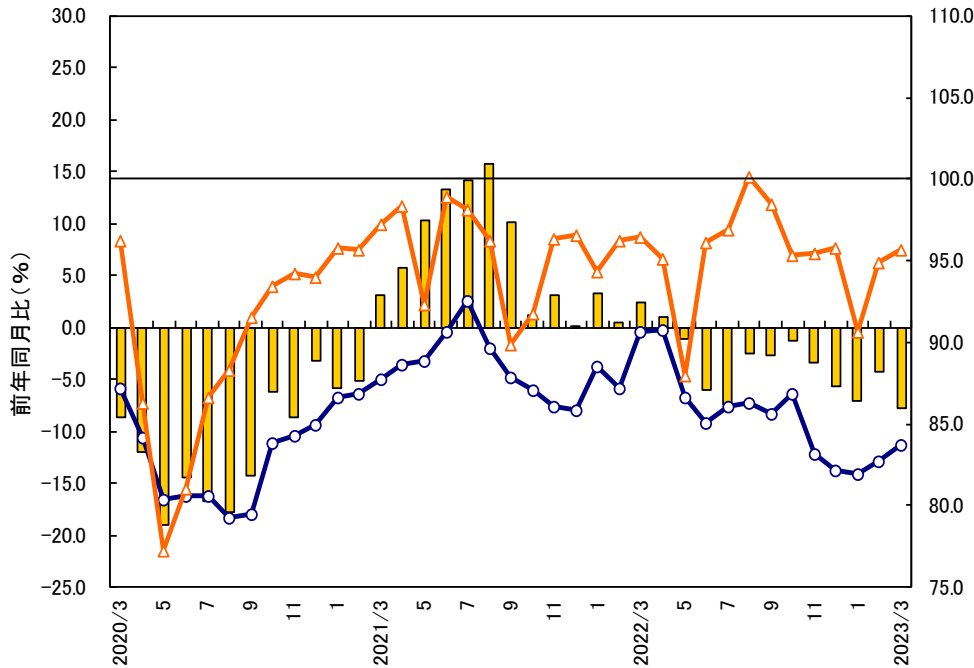
# 生産活動 ～ 弱い動きとなっている ～

3月の鉱工業生産は、前月比+1.2%と2か月連続で上昇した。前年同月比は▲7.8%と11か月連続で低下した。上昇業種は、輸送機械工業など9業種となった。低下業種は、電気機械工業など6業種となった。

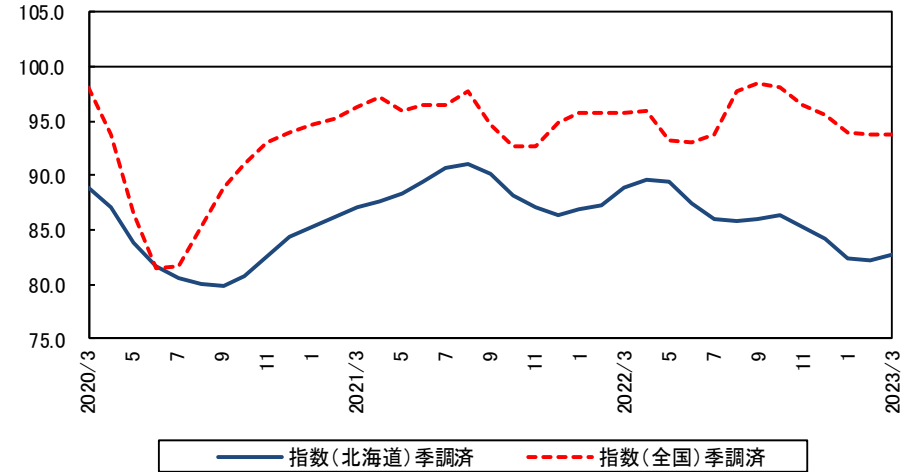
< 3月 >	
季節調整済指数	
北海道 (速報)	83.7 (前月比+ 1.2%)
全国 (速報)	95.7 (前月比+ 0.8%)

	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
上昇 9業種	輸送機械工業	+ 9.1	▲ 0.9	自動車部品
	パルプ・紙・紙加工品工業	+ 6.9	▲ 7.1	印刷用紙 (塗工)
	食品工業	+ 1.7	▲ 0.4	塩蔵品
低下 6業種	電気機械工業	▲ 4.6	▲ 14.7	電子部品

鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均)

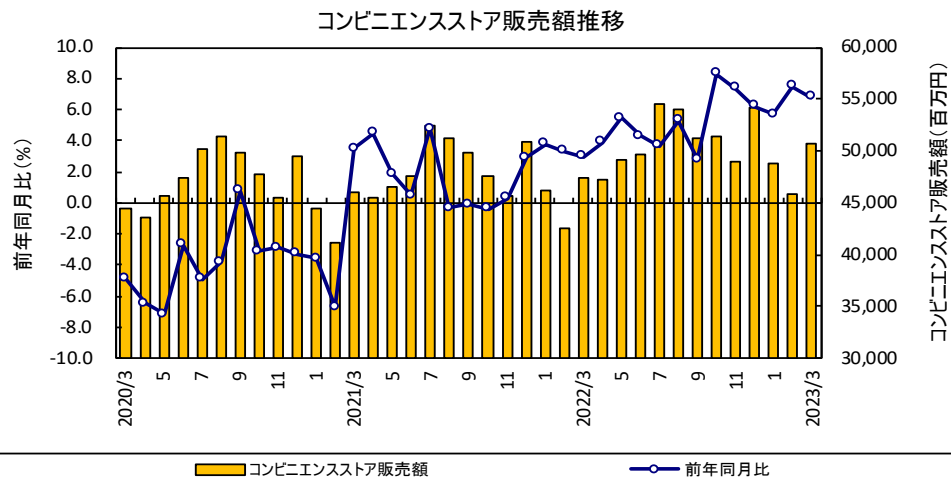
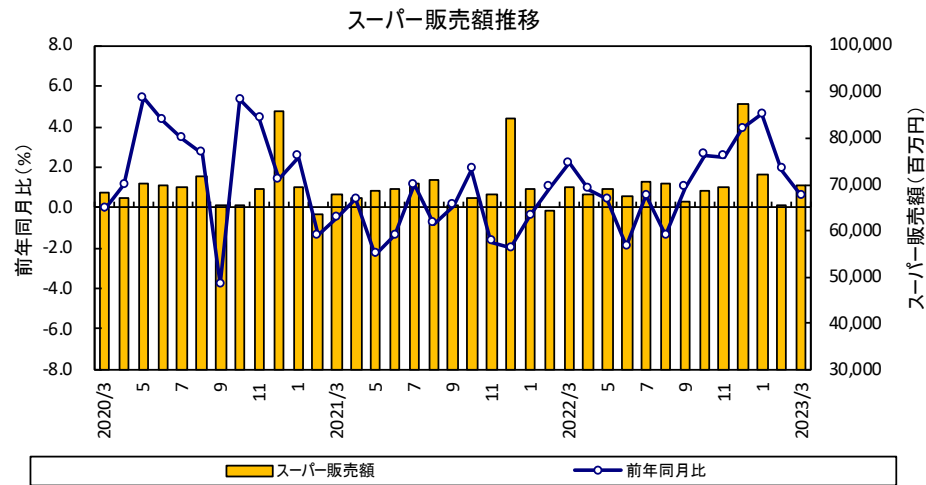
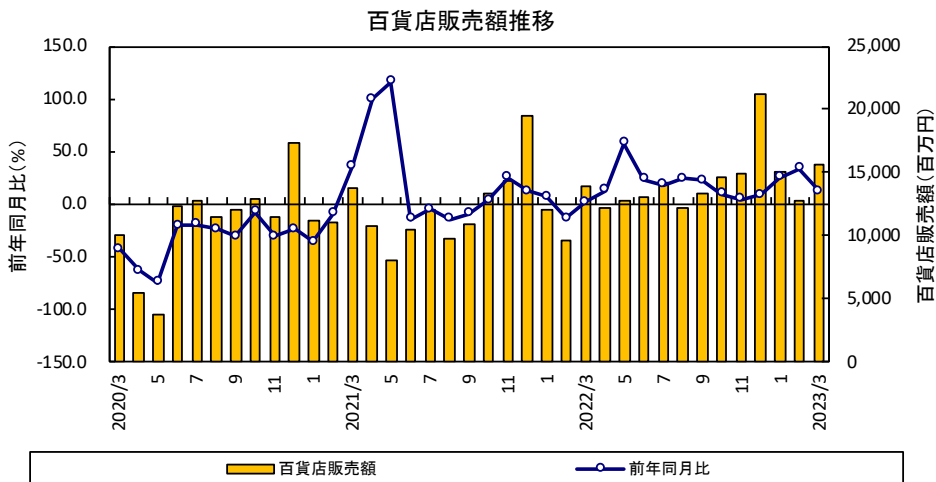


(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

# 個人消費 ～持ち直している～

3月の個人消費は、家電が前年を下回ったものの、他の6業態は前年を上回った。

- 百貨店は、全体的に売上げが好調で、前年同月比+11.9%と13か月連続で前年を上回った。
- スーパーは、値上げの影響で飲食料品の売上げが増加し、同+0.6%と7か月連続で前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同+6.8%と17か月連続で前年を上回った。

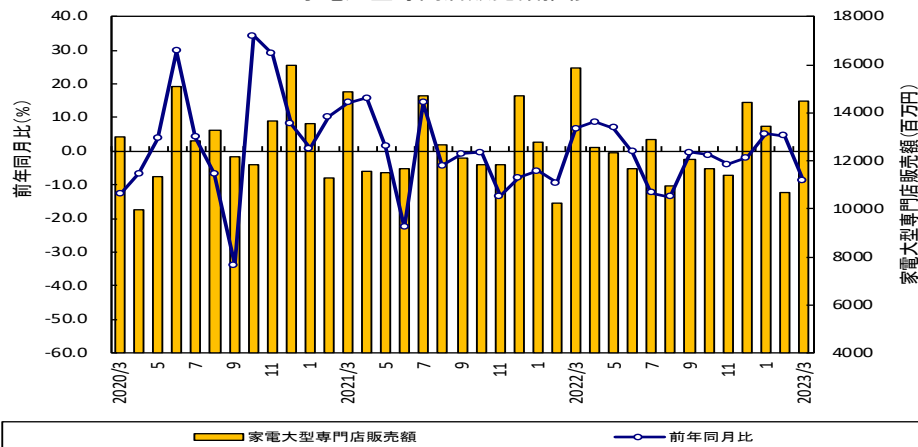


**【ヒアリング内容】**

- 高級ブランド品の売上げは、国内富裕層向けに好調なほか、インバウンド向けも回復傾向にある。気温などの影響で旅行関連商品や春物の婦人服の売上げが良かった。また、化粧品の売上げは国内客向けに回復傾向にある。（百貨店）
- 値上げの影響で売上げが前年を上回った。一方で、プライベートブランド商品が伸長しているほか、買上点数が減少するなか、ディスカウントストアの売上げが増加しており、お客様の節約志向が見られる。（スーパー）
- 気温の高い日が多く、飲料やアイスの売上げが増加した。また、先月に引き続き人流増加により、おにぎりや弁当の売上げが好調だった。（コンビニエンスストア）

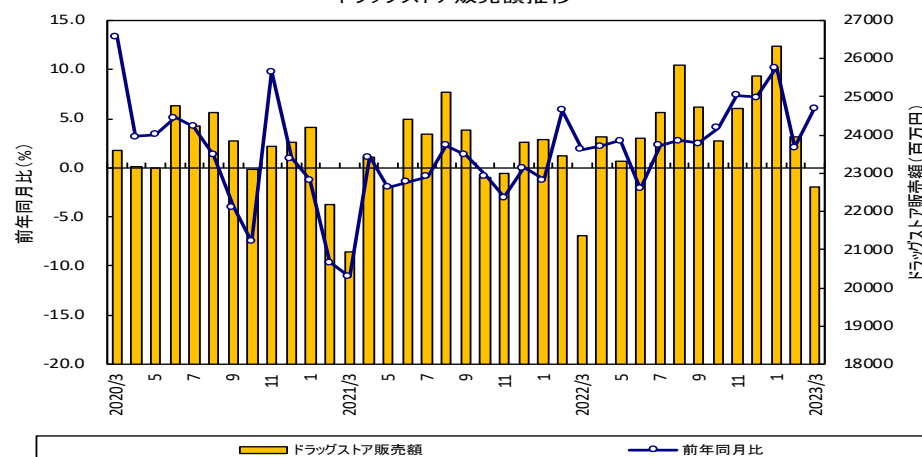
- ・家電大型専門店は、同▲8.9%と3か月ぶりに前年を下回った。ドラッグストアは、同+6.1%と9か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+5.0%と2か月連続で前年を上回った。
- ・新車販売は、同+20.7%と7か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



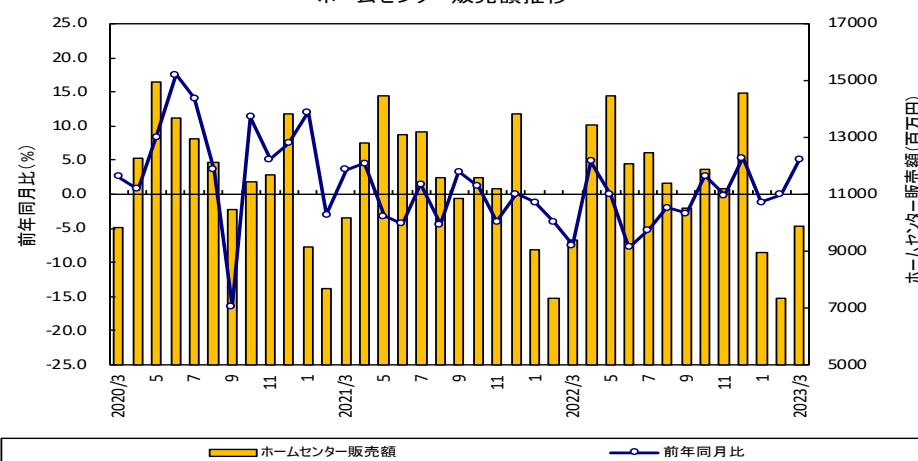
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

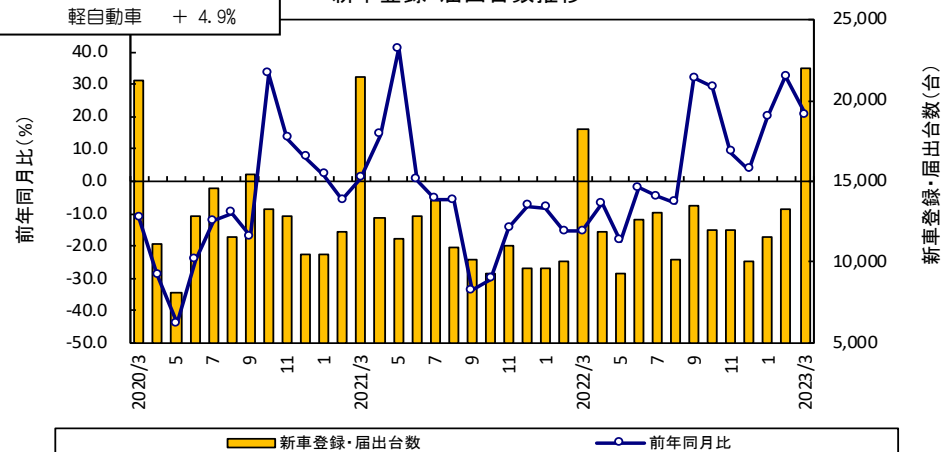
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

<3月> 普通乗用車 +34.3%  
小型乗用車 +19.4%  
軽自動車 +4.9%

新車登録・届出台数推移



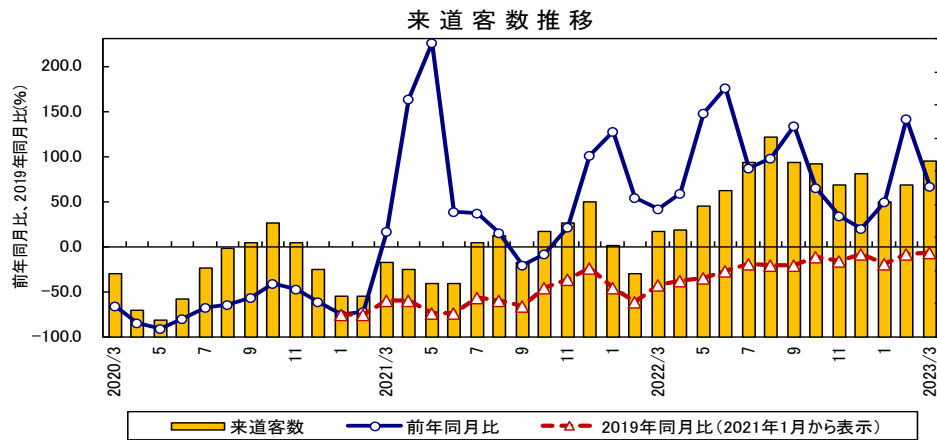
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

- ・前年までエアコンの売れ行きが好調だった反動で、今年は売上げが減少した。（家電大型専門店）
- ・マスク着用が個人の判断となったことで、1000円のメイクアップ商品を中心に、化粧品が先月に引き続き増加傾向となっている。食料品は売上げが好調だった。（ドラッグストア）
- ・新学期等の準備時期であることに加え、ヘルメットの着用が努力義務となったことで、自転車関連用品の売上げが好調だった。また、天候に恵まれたことから例年よりも早く、家周辺の補修作業に使用する塗料・補修材の売上げが伸びた。（ホームセンター）

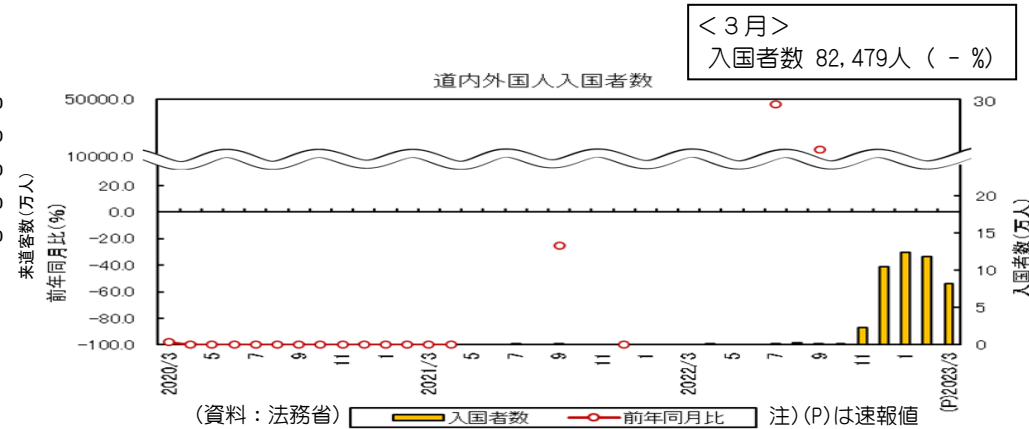
# 観光 ～ 緩やかに改善している ～

3月の来道客数は、前年同月比+65.8%（2019年同月比▲6.2%）と17か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、82,479人であった。



< 3月 > 来道客数 1,059,198人 (+65.8%)  
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)

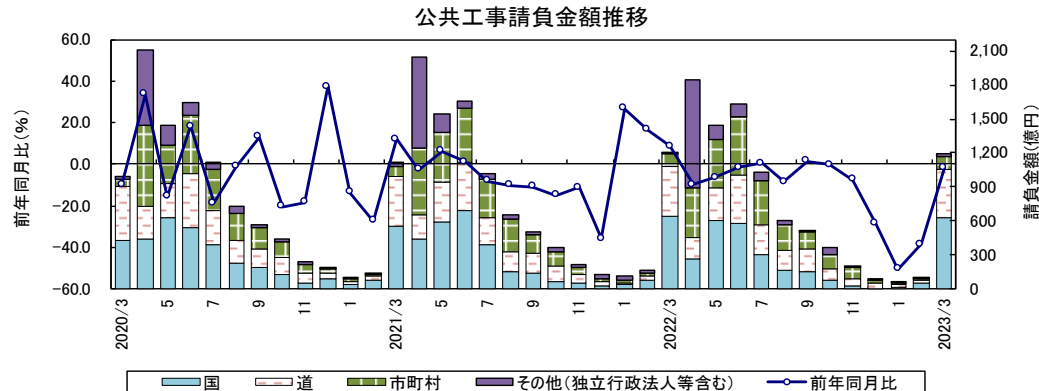


## 【ヒアリング内容】

・昨年と異なり行動制限がなかったことや全国旅行支援のおかげで、3月上旬から卒業旅行や学生旅行を目的とした少人数グループの若者が、また、下旬からは春休みの家族旅行者が多くみられ、宿泊施設の稼働率も好調だった。インバウンドは、引き続き韓国や台湾などのアジア圏からの団体ツアー客や個人客がみられた。4月は、週末は満室近くの宿泊施設も多い中、平日は落ち着いてきた印象もある。(観光協会)

# 公共工事 ～ 減少した ～

3月の公共工事請負金額は、市町村は前年を上回ったが、国、道は前年を下回り、前年同月比▲1.6%と6か月連続で前年を下回った。



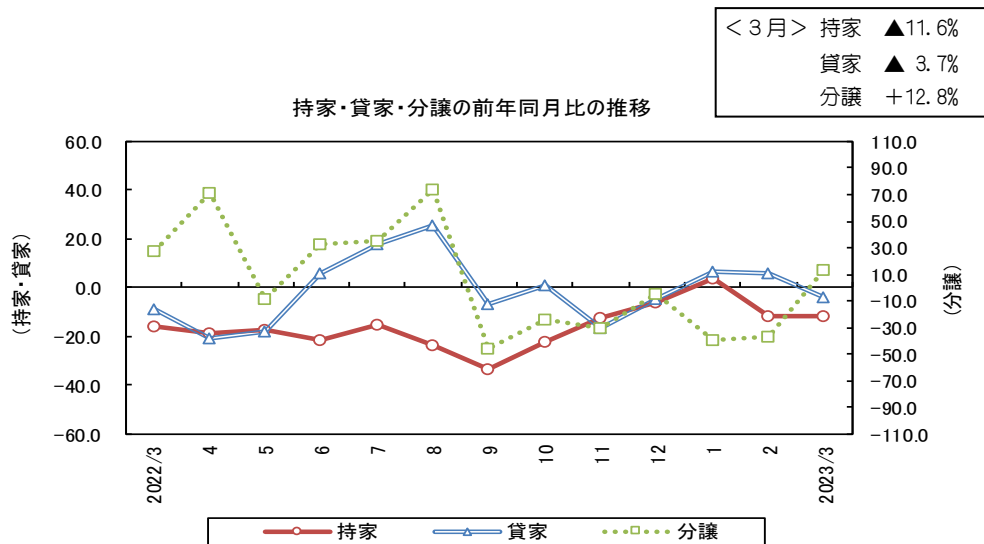
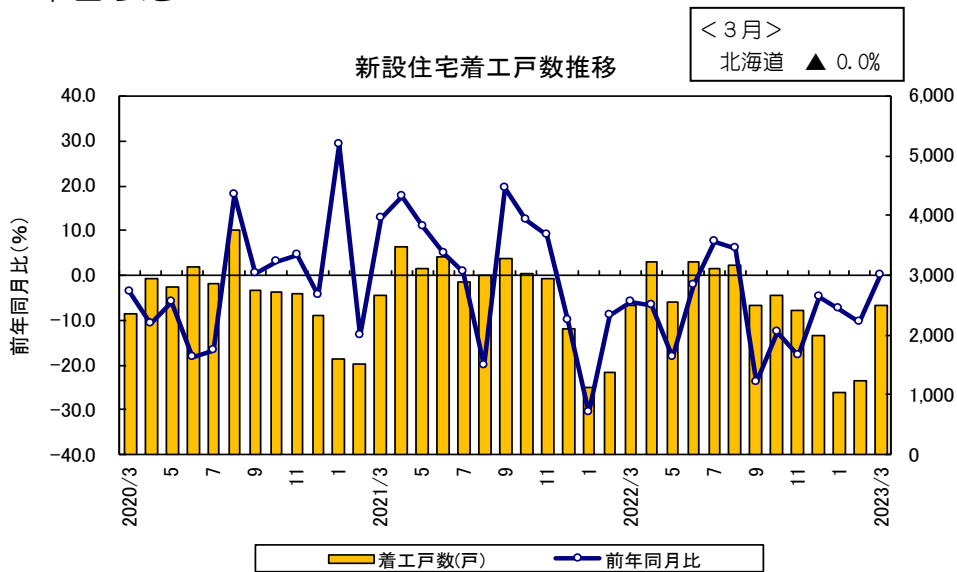
< 3月 >  
 北海道 ▲ 1.6%  
 (内訳)  
 国 ▲ 1.1% 道 ▲ 4.2% 市町村 + 3.7% その他 + 8.8%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ~ 弱まっている ~

3月の新設住宅着工戸数は、分譲は前年を上回ったが、持家、貸家は前年を下回り、前年同月比▲0.0%と7か月連続で前年を下回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ~ 増加している ~

2022年度の設備投資計画は、全体で前年度比+12.6%と3年ぶりに前年度を上回った。なお、2023年度は前年度を下回る計画となっている。

## 日銀短観の設備投資動向

2023年4月3日発表

	2022年度	2023年度
北海道	+ 12.6%	+ 5.2%
製造業	+ 42.1%	+ 24.1%
非製造業	+ 3.4%	▲ 2.9%
全国	+ 11.4%	+ 3.9%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

## 法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2023年3月13日発表

	2022年度	2023年度
全産業	+ 26.0%	▲ 5.0%
製造業	+ 34.7%	+ 60.0%
非製造業	+ 24.0%	▲ 22.0%

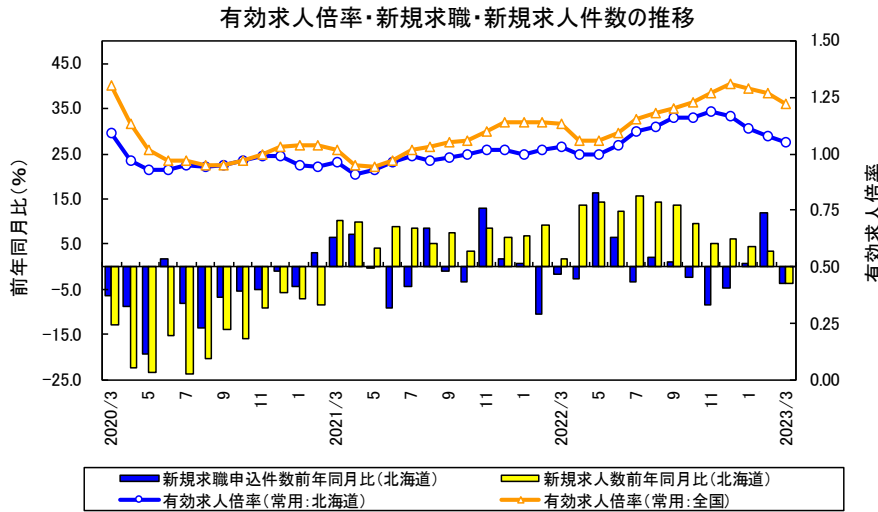
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

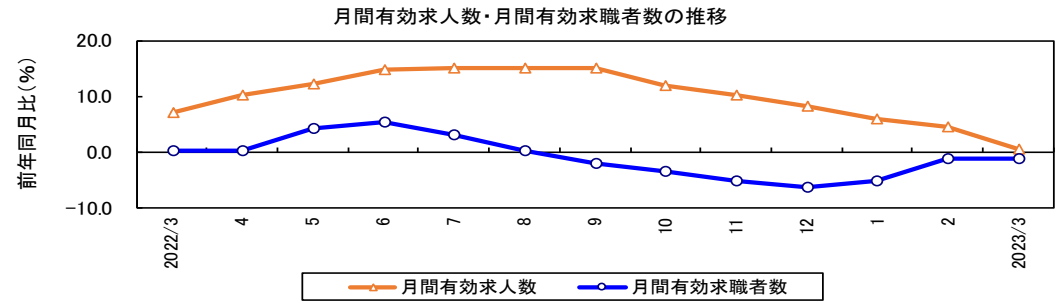
# 雇用動向 ~ 緩やかに持ち直しの動きがみられる ~

3月の有効求人倍率は、1.05倍と前年同月差0.02ポイント上昇し、22か月連続で前年を上回った。



< 3月 >	
北海道	有効求人倍率(常用) 1.05倍
	新規求人件数(前年同月比) ▲ 3.6%
	新規求職申込件数(前年同月比) ▲ 3.7%
全国	有効求人倍率(常用) 1.22倍

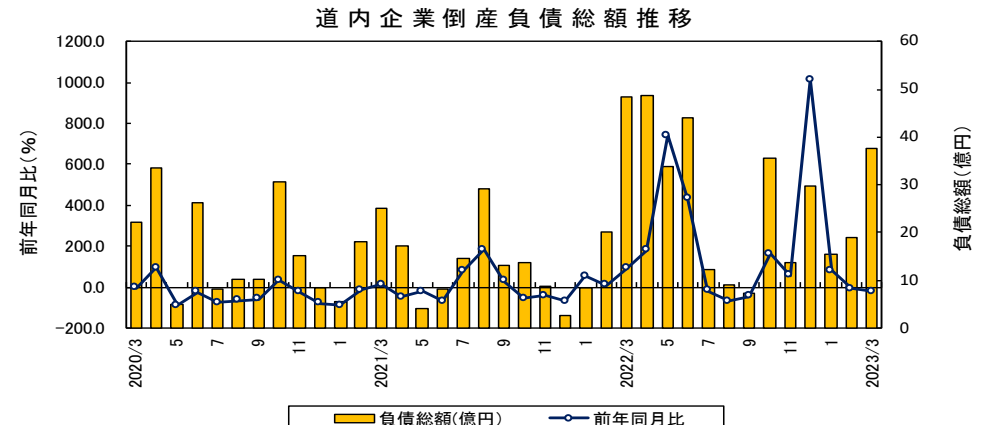
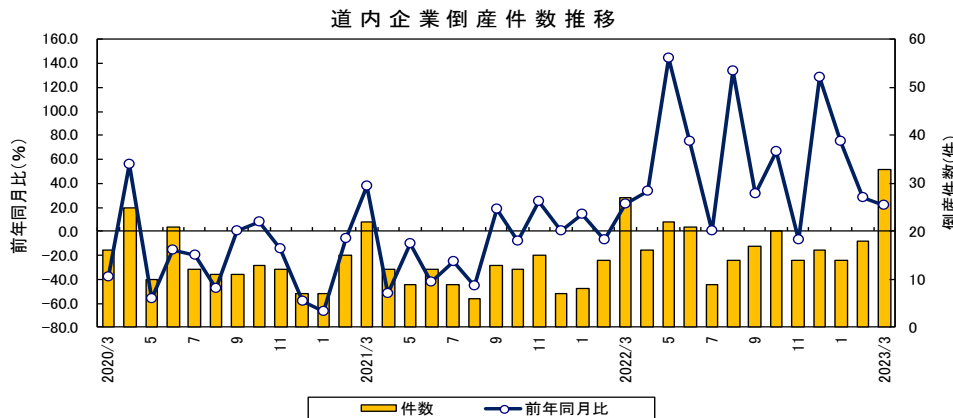
< 3月 >	
月間有効求人件数	(前年同月比) + 0.7%
月間有効求職者数	(前年同月比) ▲ 1.2%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ~ 件数は増加、負債総額は減少した ~

3月の倒産件数は33件で、前年同月比+22.2% (6件増) と4か月連続で前年を上回った。また、負債総額は37.8億円で、同▲22.1%と2か月連続で前年を下回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)